

(評価資料4)

評価項目	4 予算の配分と研究施設・設備に関すること
当センターの状況	<p>(1) 業務内容に関する経常的経費（施設管理費等）と政策的経費（研究費等）の状況</p> <p>経常的経費（施設管理費等）に当たる試験研究以外の業務費について、予算の推移をみると、検査機器の更新に係る予算は備品更新計画（平成25年度～平成32年度）に従い概ね所要額が計上されているが、運営経費は3年連続で減額となっている。</p> <p>また、政策的経費（研究費等）である県単試験研究費についても3年連続で減額となっている。なお、平成29年度の県単試験研究費は、現場・県民ニーズを的確に反映した研究課題の設定や研究の推進・充実強化に必要な人材の育成・確保と体制整備を図るため、新たな研究計画のもと14年ぶりに増額となった。</p> <p>(2) 研究に必要な施設・設備の確保</p> <p>研究に必要な施設・設備の確保については、備品更新計画に基づいた検査機器等の更新を行っている。</p>
評価結果	<p>○ 評価 A：適当（4人）・B：要改善（2人）・C：不適當（0人）</p> <p>○ 評価コメント</p> <p>(1) 業務内容に関する経常的経費（施設管理費等）と政策的経費（研究費等）の状況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 次につながる計画が認められる。</li><li>・ 現時点では、研究費の増額もみとめられ、適正に評価配分されていると認められる。</li><li>・ 重要な課題に取り組んでいるが研究費が不十分。</li><li>・ 業務内容に関する経常的経費と政策的経費については特に問題はない。</li><li>・ 平成29年度は増額と聞いているが、継続的な研究を実施するためには研究費の安定的な支出が望まれる。</li></ul> <p>(2) 研究に必要な施設・設備の確保</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 適切に更新・整備されている。</li><li>・ 施設・設備については、適正に更新されていると認める。</li><li>・ 研究に必要な施設・設備は確保されている。</li></ul>
センターの対応方針	<p>研究費については、現場・県民ニーズを的確に反映した研究課題の設定や研究の推進・充実強化に必要な人材の育成・確保と体制整備が図られるよう、予算の確保に努めていく。</p> <p>また、検査機器等は、計画的な更新が行われるよう、今後も予算の確保を図っていく。</p>